

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		排水路整備事業			
事業の概要	<p>多発する集中豪雨による水害防止・環境衛生の向上のため、計画的に排水路の整備を実施し、町民の安心安全な生活に寄与するものである。浸水区域の解消はもとより、有蓋側溝とすることにより道路として使用する部分を広げ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校線 擁壁工 L=23.2m</li> <li>・平野寺線 樹工 N=2箇所、横断工 L=1.9m</li> <li>・堂ノ谷2号線 嵩上げ擁壁工 L=15.4m、舗装復旧工 A=3.0㎡、コンクリート舗装工 A=1.6㎡、鋼製蓋 N=2枚</li> <li>・池ヶ成線 落ち蓋式U形側溝設置 L=7.0m、側溝清掃工 L=36.0m</li> <li>・大浜団地1号線 横断用自由勾配側溝設置 L=15.2m</li> <li>・周津線 嵩上げ工 L=7.7m、蓋取替工 N=8枚、集水樹工 N=1基、舗装工 A=18.4㎡</li> <li>・石場大門線 底部コンクリート工 A=16.8m、擁壁コンクリート工 L=27.5m</li> <li>・縄手長宮線 管渠工 L=13.8m、U形側溝工 L=7.3m、樹工 N=1箇所、既設横断 管清掃 L=10.0m</li> <li>・四辻加悦駅線 側溝底打ち工 L=55.0m</li> <li>・橋本後野線 側溝止水壁補強 L=70.0m</li> <li>・上土高校線 集水樹修繕 L=20.0m、N=2基</li> <li>・梅谷奥地線 インバート工 L=20.0m</li> <li>・向岩屋本線 側溝底打ち L=18.0m</li> <li>・紺屋橋線 横断側溝工 L=3.0m</li> <li>・大門線 保護コンクリート L=9.0m、塩ビ管布設 L=4.5m</li> <li>・新上道線 越水防止鉄板設置 N=1.0式</li> <li>・男山線 蓋掛け 1箇所</li> <li>・飯後区内 鉄板取替 1箇所、側溝内柵設置 2箇所</li> </ul>				
	事業期間	平成21年度			
	総事業費	5,838	本年度事業費	5,838	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	平成16年の台風23号以降も集中豪雨による被害は後を絶たず、本町では、昨年8月にも台風9号による甚大な被害を受けたばかりである。このような中、排水路の整備については各地域とも強い要望があり、行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施することとしている。			
	事業の有効性	本事業の実施により、浸水区域を解消し、災害を未然に防止することで、大雨時における住民生活の安定、安全が図られる。			
	事業の効率性	排水路の整備により環境衛生の向上が期待でき、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		<p>本事業の実施により、浸水区域を解消し、災害を未然に防止することで、大雨時における住民生活の安定、安全が図られる。</p>			
3 リーディング・モデル成果					
具体的な成果	<p>水路の整備については各地域とも強い要望があり、町としても大雨の際の家屋の浸水防止・環境衛生の向上のため、年次計画により排水路の整備を実施することとしており、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。</p>				
	4 広域的波及成果				
	<p>浸水区域の解消のほか、有蓋側溝とすることにより道路を広く使うことができ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。</p>				
	5 行財政改革に資する成果				
具体的な成果	<p>大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害を無くしたり軽減できたりし、加えて被害後の復旧等に係る費用の削減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より能率的に効果を発揮するものである。また、水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の削減にも資する。</p>				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。